森田小学校スクールプラン

令和3年度

児童の実態
・落ち着いて学習に取り組み、ルールを守り真面目に頑張ろうとする児童が多い。
・進んであいさつしたり発表したりする力はまだ十分でない。

教師・家庭・地域の願い
・毎日、元気に笑顔で過ごしてほしい。
・時と場にあったあいさつができるようになってほしい。
・進んで学習や読書に取り組み、学力を身に付けてほしい。
・自分の思いや考えを生き生きと伝えられるようになってほしい。

学校教育目標

創造性豊かに、すすんで活動する　森田っ子

めざす児童像

考える子　思いやりのある子　強い子

令和3年度の取組の重点
「だれもが通いたくなる学校・信頼される学校づくり」
・一人一人が輝ける学校・学び合い高め合い協働する教職員

福井市学校教育方針
目標：「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」
◇地域に根ざす「学びの一貫性」
「系統性のある学び」「地域に根ざした学び」
中学校区教育の推進
「いつでもできる　どこでもできる　森田の子」
・すすんであいさつをしよう　・話はしっかり聞こう
・ていねいな言葉で話そう　・みんなと仲良くしよう
・自分のことは自分でしよう

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	交流・連携の推進
重点目標	◎教育の充実・改善を図るカリキュラムマネジメントの推進 ◎ICT・タブレットを有効に活用した「引き出す教育・楽しむ教育」の推進 ◎学習ルール「森田スタンダード」の定着と強化 ○基礎的･基本的学力の確実な定着と思考力･表現力の育成	◎認め合い思いやる心をもつ児童の育成と、温かい集団づくり・歌声の響く学校づくり ◎児童の心に寄り添う児童理解と支援体制の充実による居場所づくり ○気持ちよいあいさつ、きまりよい生活ができる児童の育成 ○学習成果を発揮･活用できる場の再構築	◎粘り強くやり遂げる体力・気力の向上 ◎安全指導・防災教育の徹底による危機回避及び対応能力の育成 ○望ましい生活習慣の確立（家庭への啓発） ○健康教育と食育の推進	◎地域素材活用と地域社会との交流活動の推進「ふるさとの魅力発信」 ◎生活科・総合的な学習の時間を軸にした交流･体験活動の充実 ○保幼小中連携の推進 ○家庭や地域と共に歩む開かれた学校づくり
具体的な取組	・カリキュラムマネジメントを意識した児童につけたい力「やりぬく力」「協働する力」「発信する力」の育成をめざした授業づくり【学年二授業の実施、校内研修の充実、教材・教具の開発と共有化】 ・タブレットを有効に活用した授業づくり ・学習ルール「森田スタンダード」の定着と強化【安心して学びに向かえる環境づくり】 ・基礎学力の定着と思考力、表現力の育成【ワークシート・評価テストの工夫】 ・家庭学習の定着と自主学習の啓発【家庭学習強化週間　年３回】 ・朝読書の充実と読書習慣の定着【多読者調べ、啓発月間年２回、図書室の活用、学級文庫の充実】	・深く考え自己を見つめる道徳授業の充実や思いやり道徳の実施で、互いの良さを認め合う学級づくり ・あいさつ運動の推進、はきものをそろえる・無言清掃・無言移動の意義を理解させ取組を継続【生徒指導部会で取組強化】 ・「いじめのアンケート」の活用【月１回】【いじめ防止基本方針に基づく取組】 ・命の尊さ・大切さについて考える場と機会の設定 ・児童につけたい力を伸ばす特別活動の推進【特活部会の研究推進】	・運動量がある体育学習の工夫 ・運動ができる環境づくり、外運動・外遊びの奨励、学級遊びの実施【週１回】 ・交通事故、学校事故の防止と啓発【登下校指導　月1回、学校安全計画の活用】 ・様々な場合を想定した避難訓練、引き渡し訓練の実施と事前・事後学習の充実 ・ネット利用、情報モラル教育の充実と「森小スマートルール」の**定着と強化** ・養護教諭・栄養教諭と担任とのＴ・Ｔによる保健指導、食育指導の充実	・地域素材（人・もの･施設等）の積極的な活用【地域総合部会の取組、地域と連携した活動や授業の推進】 ・保幼小中の連携した取組の充実【３本の柱「授業づくり」「夢を育む生き方教育」「気になる子どもの支援」の学び一貫性】【スタートカリキュラムの実践】 ・各種たよりや学校HP、授業・行事公開等によるタイムリーで継続的な情報の発信
数値目標	・授業がよく分かる児童（児童評価A75%） ・授業中、自分の考えを進んで友達に伝えることができた児童（児童評価ABで70%） ・思考力、表現力の評価テスト年間通して実施 ・宿題以外にも進んで学習している児童（児童評価ABで70%） ・図書室で年間30冊以上本を借りた児童（90%） ・外国語活動等に肯定的な児童（ABで90%）	・道徳の時間考えを深められた児童（ABで 95%） ・命の大切さに気づき、自他の命を尊重しようとする児童（道徳ｱﾝｹｰﾄABで95%） ・場にあったあいさつができていると評価した保護者（ABで60%） ・みんなで何かをするのが楽しいと答える児童（児童評価ABで95%） ・学校に通うのが楽しい児童（ABで95%）	・食育や健康な体づくり、安全面の適切な指導に対する保護者の評価（ABで90%） ・けが等による保健室利用児童数（前年度比減少） ・ゲームやネットの使用等、家庭での生活習慣について話し合った児童（100%） ・感染症に関する保健指導、予防に関する指導、心のケアに関する支援･指導（随時100%）	・地域と連携した活動や授業（各学年3回以上、ｹﾞｽﾄﾃｨｰﾁｬｰのべ5人以上の昨年度比増加） ・自分の地域が好きと答えた児童（ABで95%） ・中学校区として目指す子どもの姿の実現に取り組んだ教職員（100%） ・気軽に学校に相談できると評価した保護者　（ABで80%）

業務改善のための取組　・新しい学校生活様式での学校行事の見直し（廃止や縮減）　・校内LANの活用による情報伝達　・「ノー残業デー」の徹底　・超過勤務時間月45時間未満の励行　・会議の精選と会議時間1時間半以内